

瓊水

けい すい

瓊水とは、玉のように美しく清らかな水のことです。田平を潤す、玉のように清らかな心をもつ子を育てていきます。

校長 田崎俊一郎



学校支援会議

史上最も早い梅雨明けだそうです。これから夏休みまで3週間ほどあることを考えると、暑さがとても心配です。熱中症には十分気を付けたいと思います。

さて、6月22日(日)から6月28日(土)は、北っ子の心を見つめる教育週間でした。6月27日の授業参観日には多数の保護者の方に参観いただきました。ありがとうございました。子どもたちの様子、学級の様子はいかがだったでしょうか。子どもたちは若干緊張気味でしたが、一生懸命考えている姿をたくさん見ることができました。参観日に先立ち、校長室にて学校支援会議を開きました。学校支援会議とは、地域ぐるみで子どもたちを支えるために組織するものです。本校では、学校評議員の方、PTA役員の方で組織しています。第1回目の内容は昨年度の教育評価結果に見られる課題とそれを克服するための今年度の具体的方策について話し合いました。その中で行った提言は3つです。

自律する力の育成に関わって

学習ボランティアなど、金曜日に個別学習をし、基礎基本の向上に努めたい。しかし、マンパワーが不足している…

提言1 地域の力を子どもたちの学力向上へ!

～学習ボランティアとしてお手伝いを願える方はいないか?

○退職された教職員の方にお手伝いを願えないか。やはり教え方が大変上手であるため。
○お手伝いを願える方がいないか地域に投げかけてみる。

協働する力の育成に関わって

子どもの心をもっと深く見つめる必要がる。落書き・いたずら

・友達関係のトラブルなど

提言2 もっと子どもの心を深く見つめることはできないか?～QUの購入実施はできないか?

○4年生以上で実施してみるとよいのでは?
○PTA活動とタイアップするとなると全員実施が必要ではないか?

創造する力の育成に関わって

体験活動の重視…本物にふれる機会の位置づけ

・試行錯誤を推奨する。

提言3 提言3 地域での見守り体制の強化と人材ボランティアの発掘(本物にふれる活動)

○昔、田植えの体験活動をした際の子どもたちのやる気は素晴らしかった。それだけ体験活動は魅力的である。
○現在は、安全な環境づくりが言われるが、どんな環境でも行動によって安全にも危険にもなる。よく見極めて取り組むことも必要だが、失敗も含めて体験させることが重要である。

短い時間しか取れなかったため、それぞれの提言について決定までは至りませんでした。ぜひ、実現の方向に向けて今後も意見を取り入れながら計画実践へつなげていきます。

予習型学習

今年度の北小の校内での研修テーマである予習型の学習について、先週6年生でその手法を提案する授業研究会を開きました。6年生は、予習で学んだことから開き合いを行い、学習を深めていました。予習をしているため、十分に考えを話し合う時間、習熟の時間を本時の中に位置づけられました。

その後の研究協議では成果と課題がたくさん挙げられ、今後の授業づくりに役立つものでした。今後の授業改善につなげていきます。



